

いきいきと 力をあわせたまちづくり
夢 あふれる 紀の川市

第1次 紀の川市 長期総合計画

概要版



ごあいさつ

“いきいきと力をあわせたまちづくり”をめざして



紀の川市長
中村 慎司

紀の川市は、平成17年11月7日に旧那賀郡の5町（打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町）が合併して誕生しました。

すでに新市となって2年余りが経過しましたが、少子高齢化、高度情報化、地方分権の進展など紀の川市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中で、市民の価値観やライフスタイルは多様化しており、厳しい財政状況下において市民ニーズを的確に把握するとともに、積極的に行財政改革を行い、市民と行政が目標を共有し、協働でまちづくりを進めていく必要があります。

そのような中、新しいまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、平成18年度から長期総合計画の策定に着手し、限られた財源のなかで重点的に実施する政策・施策や実現可能な事業の選択を行うとともに、多くの市民の意見を反映できるよう市民意識調査、市民会議、パブリックコメント等を実施したうえで、長期総合計画審議会でのご意見を反映した計画づくりを進めてまいりました。

本計画の目標年度である平成29年度には、合併して良かったと評価していただけるよう、市の将来像として「いきいきと力をあわせたまちづくり 夢 あふれる 紀の川市」を掲げ、また「協働」・「人づくり」・「基盤づくり」・「環境づくり」・「行財政」の5つを政策の柱として新しいまちづくりを進めてまいります。

結びに、本計画策定にあたり、ご尽力を賜りました関係者の皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、本計画の実現に向けて、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成20年3月

総合計画の概要

第1次紀の川市長期総合計画は、平成20年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とする「紀の川市」のこれからのまちづくりの基本方針を示したものです。

市民のみなさんと行政が力を合わせて、市民主体のまちづくりを進めていくことが大切であり、10年後に実現を目指すまちの将来像を示した「基本構想」と、その基本構想の実現のために何をすべきか、今後5年間の具体的な取り組みを示した「基本計画」を定めています。

平成20年度

平成29年度

基本構想（10年間） <平成20年度～平成29年度>

前期基本計画（5年間）
<平成20年度～平成24年度>

後期基本計画（5年間）
<平成25年度～平成29年度>

基本構想…………… 目指すまちの姿

紀の川市の将来像

都市の 将来像

いきいきと 力をあわせたまちづくり 夢 あふれる 紀の川市

本市の恵まれた自然環境や文化資源を通じて、人と人とのつながりを大切にしながら、誰もが安心して夢や生きがいをもちながら、いきいきと暮らし続けられるような都市を目指すとともに、市民と行政が互いに連携し、地域のことは地域で考えるという基本姿勢にたった力強い地域力に満ちたまちづくりを目指します。そのために、次の5つの政策目標の実現を目指します。

政策 目標

1 【協働】 ともに参加し行動するまち ～みんなで力を合わせよう～

地域や世代を超えた市民交流や互いの顔の見える地域コミュニティが行われているとともに、市民が主体性をもって積極的に地域活動やまちづくり活動に参加し、市民と市が力を合わせてともに行動しているまちを目指します。

2 【人づくり】 すこやかで感性豊かな人が育つまち ～思いやりを持ってたすけあおう～

市民がお互いに思いやりとたすけあいの心を持ち、元気で安心して生活しているとともに、誰もがふるさを愛し誇りを持ち、個性と能力を発揮しながら、新しい次代を担う世代が健やかに育っているまちを目指します。

3 【基盤づくり】 快適で活気があるまち ～いきいきと暮らそう～

市民生活を支える快適で利便性の高い社会基盤と地域産業が充実し、住み働く環境が整い、市民がいきいきと暮らし活動し、活気にあふれているまちを目指します。

4 【環境づくり】 環境にやさしいまち ～自然を大切にしよう～

水と緑の豊かな自然に囲まれて、憩い、ふれあい、安らぎ、自然を大切にしているとともに、自然との共生を目指した環境負荷の少ない循環型社会の実現に向け、環境にやさしい暮らし方をしているまちを目指します。

5 【行財政】 健全な行財政運営をするまち ～みんなで取り組もう～

市民の目線に立った的確な市民サービスが行われているとともに、行政の透明性を高め、実効性ある行財政改革を行い、効率的で効果的な行財政運営をしているまちを目指します。

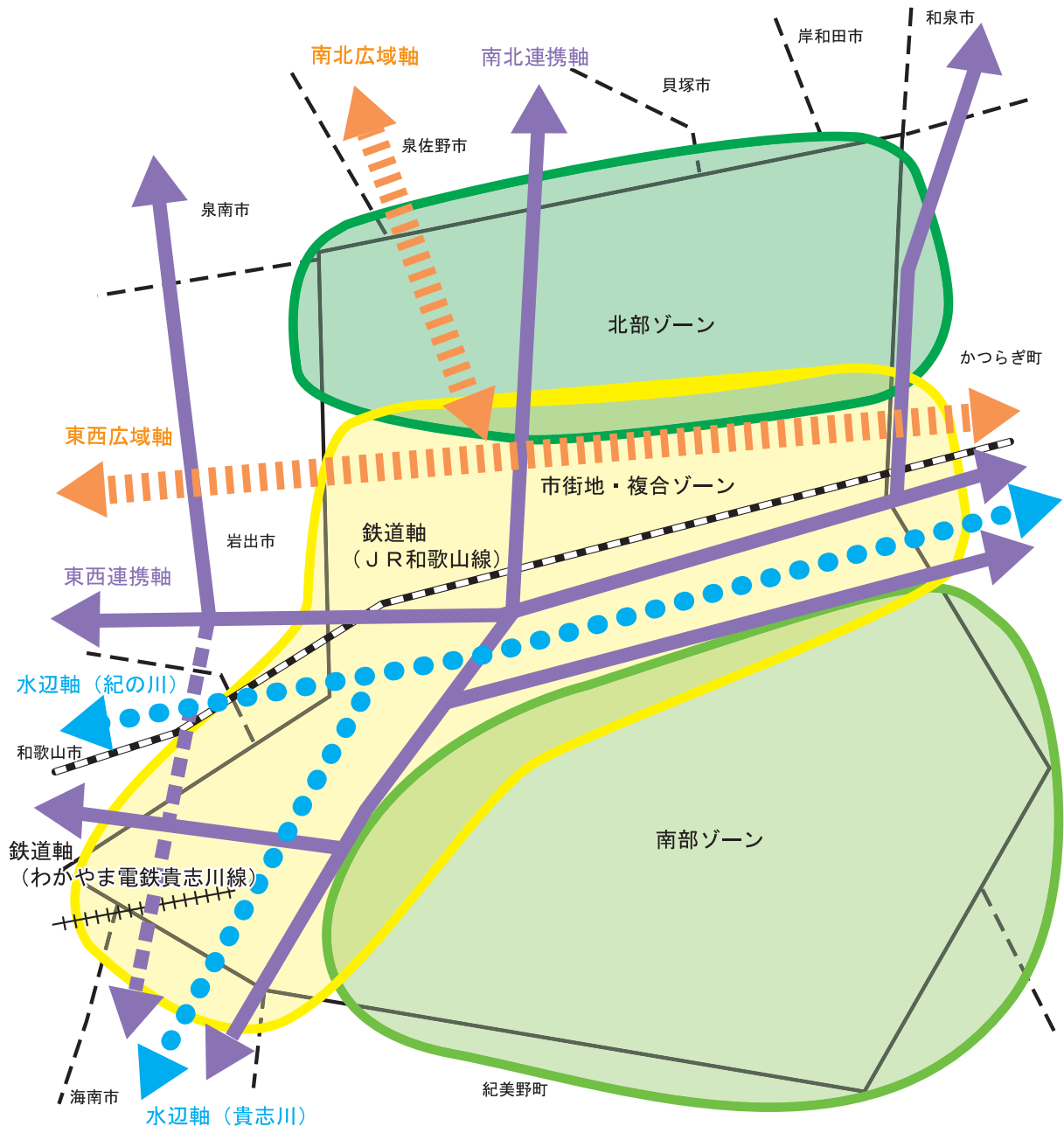
将来人口

本市の人口推移をみると、平成12年以降一貫して減少傾向にあります。人口の減少に歯止めをかける施策を総合的かつ一体的に展開することによって、転出者数を減らすことで、基本構想の目標年度の2017年（平成29年）における紀の川市の将来人口を

70,000人と設定します。

土地利用構想

将来像の実現に向け、紀の川水系や和泉山脈、紀伊山地などの豊かな自然や田園など、地域の特性を活かし、自然と都市との適正な共存を図っていきます。また、東西、南北の広域的な交流・連携軸となる交通動線を強化していきます。



計画の体系

将来像

キーワード

政策目標

施策目標

いきいきと

力をあわせたまちづくり

夢

あふれる

紀の川市

協働

ともに参加し行動するまち
～みんなで力を合わせよう～

協働・市民交流

市民と市が力を合わせたまちづくりや
市民主体の活動と交流を行っている

防災・防犯

だれもが災害や犯罪の不安がなく、
協力し合って安全に安心して暮らしている

人づくり

すこやかで感性豊かな人が育つまち
～思いやりを持ってたすけあおう～

医療・保健・福祉

みんなでたすけあい、安心して心豊かに健康に心がけて暮らしている

教育・文化

お互いの人権を尊重しあい、ふるさとを愛し、感謝の気持ちを大切に、いきいきと輝いている

基盤づくり

快適で活気があるまち
～いきいきと暮らそう～

都市基盤

道路・交通や住環境などが整い、日常生活が便利で快適である

農業・産業振興

農業や地域産業に活気があり、生きがいをもって働いている

環境づくり

環境にやさしいまち
～自然を大切にしよう～

生活環境

環境にやさしい暮らし方をし、きれいなまちで生活している

自然環境

豊かな自然を守り、自然とのふれあいを大切にしている

行財政

健全な行財政運営をするまち
～みんなで取り組もう～

行財政運営

効率的で健全な行財政運営を行っている

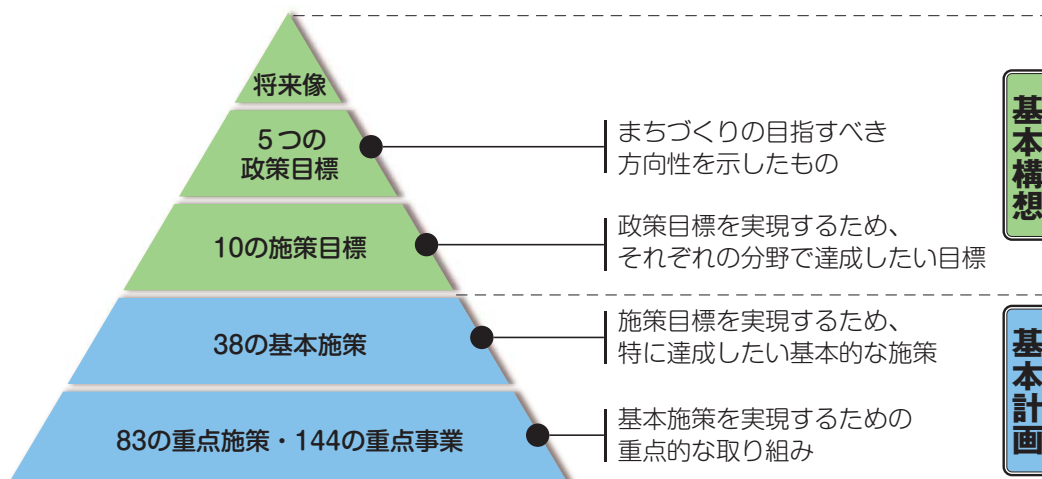
市民サービス

市民にわかりやすい開かれた市民サービスを行っている



基本計画……………実行すべき取り組み

基本計画では、将来像と政策目標を実現するため、それぞれの政策目標に沿って、「施策目標」、「基本施策」を示すとともに、基本施策ごとに、達成を目指す成果目標を設定し、その実現のために実行すべき「重点施策」「重点事業」を体系的に示しています。



達成すべき目標と取り組むべき重点施策

政策目標 1 ともに参加し行動するまち ～みんなで力を合わせよう～

施策目標 1-1 市民と市が力を合わせたまちづくりや市民主体の活動と交流を行っている 《協働・市民交流》

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
1-1-1 市民がまちづくりに積極的に参画し、市民と市の協働のまちづくりを進めている。	パブリックコメント実施件数	3件	8件	10件	①市民と行政の協働の仕組みづくり ②市民の意見を反映する仕組みづくり
1-1-2 地域や世代を越えた市民交流を活発に行うために、ボランティア活動やNPO活動などを、市や地域が積極的に支援している。	認証NPO法人数	12団体	15団体	20団体	①市民活動の育成支援 ②国際交流の推進
	ボランティアグループ数	62団体	70団体	80団体	
1-1-3 身近な地域で、市民が自主的にコミュニティ活動を活発に行っている。	国際交流事業に関わった人数	45人	100人	150人	①市民イベントの活性化 ②コミュニティ活動の支援
	桃山まつり・粉河祭・市民まつり・青洲まつりの参加者総数	110,000人	116,600人	122,100人	
	地域活動支援事業の利用件数	0件	25件	50件	

施策目標1-2 だれもが災害や犯罪の不安がなく、協力し合って 安全に安心して暮らしている 《防災・防犯》

基本施策	成果指標				重点施策
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H29年度)	
1-2-1 市民の防災意識の向上とともに災害に対する備えが強化され、自助、共助により地域防災力が高まり、市民の身体・生命・財産の被害が軽減している。	自主防災組織率 (全自治区を対象)	27%	100%	100%	①自主防災組織の育成 ②防災情報体制の強化 ③防災施設整備の充実
	防災行政無線スピーカークのサービスエリア率	85%	100%	100%	
	デジタル防災行政無線化率	0%	85%	100%	
	消防施設整備数 (防火水槽)	4基	44基	79基	
1-2-2 市民が防犯、交通安全に対する意識を高めているとともに、家庭・地域でお互いに協力し合って防犯・交通安全対策に取り組み、安全で安心な生活を送っている。	市内交通事故件数	455件	432件	409件	①交通安全対策の推進 ②地域の見守り防犯・交通安全体制の推進
	犯罪率	14.2人	13.1人	12.1人	
	スクールサポーター登録者数	305人	400人	500人	

政策目標2 すこやかで感性豊かな人が育つまち ～思いやりを持ってたすけあおう～

施策目標2-1 みんなでたすけあい、安心して心豊かに健康に心がけて 暮らしている 《医療・保健・福祉》

基本施策	成果指標				重点施策
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H29年度)	
2-1-1 医療制度が適切に運用され、必要な医療を受けることができている。	国民健康保険税収納率	93.0%	94.0%	98.0%	①医療保険制度の安定的運営 ②地域医療体制の整備 ③救急医療体制の充実
	舘淵診療所の年間外来診察患者延べ人数	3,410人	3,510人	3,600人	
	那賀休日急患診療所の年間延べ外来患者数	1,300人	1,575人	1,654人	
2-1-2 健康づくりが推進され、市民が健康に暮らしている。	特定健診受診率	—	65%	65%	①健康診断の充実と受診促進 ②健康づくりの支援
	がん検診受診者数	24,569人	27,800人	30,700人	
	乳がん検診受診者数	4,298人	5,400人	6,500人	
	健康教育及び健康相談の実施回数と参加人数	健康教育28回 健康相談83回 (3,800人)	健康教育50回 健康相談60回 (4,200人)	健康教育60回 健康相談60回 (4,400人)	
2-1-3 障害者が地域で必要な福祉サービスを受け、自立した生活を送っている。	食生活改善事業回数と参加者数	38回 (570人)	45回 (675人)	60回 (900人)	①障害者の自立支援
	福祉施設入所者の地域生活への移行率	0%	10%	13%	

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
2-1-4 高齢者福祉サービスが充実し、いきいきと自立して暮らす高齢者が増えている。	介護保険の認定を受けている人の割合	23%	21%	20%	①高齢者の自立支援 ②介護予防・重度化防止及びサービスの適切な利用の促進
2-1-5 子どもを安心して生み育てる環境が整い、子どもがすこやかに育っている。	地域子育て支援拠点開設ヶ所数	3ヶ所	6ヶ所	6ヶ所	①子育て環境・体制の整備・支援 ②保育（学童）環境の整備充実 ③乳幼児の健康管理と育児支援の充実 ④母子保健の充実
	ファミリーサポートセンター登録会員数	0人	200人	300人	
	子育てサークル数（子ども登録数）	8サークル（267人）	12サークル（387人）	16サークル（507人）	
	学童施設数	7ヶ所	12ヶ所	12ヶ所	
	乳幼児健康診査受診率（3歳8ヶ月児健診）	85.5%	90.0%	95.0%	
	親子教室参加者数	3,054人	3,160人	3,220人	
	発達相談利用者延べ数	105人	350人	450人	
	お誕生訪問活動件数	646件	700件	800件	
2-1-6 市民と行政の協力体制が整備され、みんなが安心して暮らしている。	人口1万人当たりの民生委員児童委員の相談・支援件数	1,155人	1,270人	1,390人	①地域主体の地域福祉活動の支援と体制整備
	福祉ボランティアの人数	1,512人	1,700人	2,000人	
2-1-7 市民が充実した設備の斎場を利用している。	火葬場・斎場数	5箇所	2箇所	2箇所	①斎場の整備

施策目標2-2 お互いの人権を尊重しあい、ふるさとを愛し、感謝の気持ちを大切にし、いきいきと輝いている 《教育・文化》

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
2-2-1 すべての人の人権が守られ、いきいきと暮らしている。	人権意識高揚率	—	55%	60%	①人権の教育・啓発と相談体制の充実 ②男女共同参画の推進
	人権相談開設回数	30回	60回	60回	
	市の行政機関等における委員会等の女性登用率	29%	37%	40%	
2-2-2 小・中学校教育が充実して、子どもたちの基礎学力が向上している。	文部科学省・県等の研究指定の実施学校数	10校	18校	22校	①基礎学力の向上 ②心の教育の充実 ③学校・地域・家庭の連携強化 ④教育環境の充実
	A L Tを設置している学校数	5校	7校	7校	
	紀の川市内の不登校児童生徒の出現率	1.37%	0.90%	0.80%	
	ホームページを整備している学校数	7校	16校	22校	
	外部評価委員会による学校評価の実施学校数	6校	22校	22校	
	耐震化済学校施設棟数	50棟	78棟	112棟	

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
2-2-3 家庭教育が行き届き、子どもたちに優しい思いやり、マナーなどが身についている。	家庭教育推進事業の参加者数	448人	700人	1,000人	①家庭教育の推進
2-2-4 地域の世代間交流により、子どもが健全に育っている。	補導件数	41件	20件	10件	①地域での子どもの健全育成の推進
2-2-5 市民が郷土に誇りを持って、歴史・文化を次世代に受け継いでいる。	文化財施設・事業への入館・参加者数	5,860人	6,300人	7,000人	①文化財の保全と意識啓発 ②市民の文化活動の充実
	自主文化事業等来場者数	9,247人	9,500人	10,000人	
2-2-6 市民が生涯にわたり学習する機会をもち生きがいのある生活を送っている。	生涯学習活動への参加者数	19.8万人	22.8万人	25.3万人	①生涯学習の推進 ②市民の自発的な学習活動支援 ③公民館活動の充実 ④図書館活動の充実
	60のつどい開催事業における対象者出席率	40.1%	45.5%	50.1%	
	図書館利用者登録率(人口比)	33.2%	37.0%	40.0%	
2-2-7 スポーツ環境が整い、スポーツを楽しむ市民が増えている。	日常的にスポーツを行っている市民の割合	23.7%	29.0%	32.0%	①地域でのスポーツ活動の振興 ②スポーツ施設の充実
	社会体育施設の利用者数	320,868人	392,600人	433,200人	
	スポーツ少年団員数	1,252人	1,310人	1,210人	

政策目標3 快適で活気があるまち ～いきいきと暮らそう～

施策目標3-1 道路・交通や住環境などが整い、日常生活が便利で快適である 《都市基盤》

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
3-1-1 計画的な土地利用や都市基盤の整備により、市民が豊かな生活を送っている。	調査面積に対する地籍調査進捗率	38.2%	52.5%	65.2%	①計画的な土地利用とまちづくりの推進 ②快適な住環境の整備 ③土地の適正な管理
3-1-2 公共交通機関が整備され、市民が便利に利用している。	コミュニティバス等の年間利用者数	131,000人	159,000人	172,000人	①公共交通の利用促進
	駅前周辺の駐車場の利用率	60%	80%	90%	
3-1-3 道路が計画的に整備され、市民が安全かつ快適に利用している。	地方道路整備臨時交付金事業(井田中ノ才線整備事業)進捗率	0%	100%	100%	①広域道路の整備促進 ②主要幹線道路の整備 ③身近な生活道路の整備
	市道整備・改良進捗率	28.6%	32.2%	35.2%	
3-1-4 安定供給された水道水を市民が安心して利用している。	水道施設耐震化率	5%	16%	41%	①水道施設の整備と維持管理 ②水道事業の効率的運営
3-1-5 情報通信基盤が整備され、市民生活が便利になっている。	ブロードバンド世帯普及率	30%	40%	50%	①地域情報化の推進
3-1-6 災害に強いまちづくりが行われ、市民が安心して暮らしている。	土砂災害被害の件数	7件	—	—	①防災基盤の整備

施策目標3-2 農業や地域産業に活気があり、生きがいをもって働いている 《農業・産業振興》

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
3-2-1 就業しやすい環境が整備され、定住人口が増加し、住み良いまちになっている。	立地企業数（操業開始に伴う雇用者数）	—	5社 (274人)	10社 (449人)	①企業誘致の促進 ②市内雇用の促進 ③就労支援
	立地企業連絡協議会員雇用人数（内地元雇用）	1,734人 (539人)	2,026人 (660人)	2,201人 (738人)	
	地域職業相談室年間雇用契約成立数	66件	380件	430件	
	シルバー人材センターへの加入会員数	440人	500人	550人	
	女性のチャレンジ支援等法律や制度内容等の広報活動	—	3回/年	4回/年	
3-2-2 魅力と個性ある商店が立ち並び、活気あふれる商店街になっている。	事業所数（卸売業数・小売業数）	809	809	809	①商業の活性化
3-2-3 優良な農地で担い手が安定した農業経営により、安心・安全な農作物を生産している。	ほ場整備予定箇所数	1箇所	2箇所	4箇所	①農業基盤の整備 ②農業の担い手育成・経営支援 ③農業振興と農地の保全 ④農業の生産性向上とブランド化 ⑤環境保全に配慮した農業の推進 ⑥食育の推進
	認定農業者数	299人	450人	600人	
	利用権設定率	2.0%	3.0%	5.0%	
	農産物の商標登録数	1件	6件	10件	
	農業生産法人の数	3法人	7法人	15法人	
	農村体験交流の参加者数	800人	1,900人	3,000人	
	工コ農業認定農業者数	272人	410人	550人	
3-2-4 観光地の整備やPRにより、市内に多くの観光客が訪れている。	年間観光客数	196万人	208万人	218万人	①観光の振興



「フラワーヒルミュージアム」



「粉河寺中門」

政策目標4 環境にやさしいまち ～自然を大切にしよう～

施策目標4-1 環境にやさしい暮らし方をし、きれいなまちで生活している 《生活環境》

基本施策	成果指標				重点施策
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H29年度)	
4-1-1 ごみの減量化・資源化が進み、衛生的な生活環境になっている。	ごみ排出量	23,219t	22,000t	22,000t	①ごみの減量・資源化の推進 ②廃棄物の適正処理 ③不法投棄防止の推進 ④環境美化活動の推進
	ごみ資源化率	12.4%	25.5%	25.7%	
	不法投棄件数	106件	70件	50件	
4-1-2 下水道が整備され、河川等の水質が改善している。	水質検査箇所数 (紀の川・貴志川支流)	39箇所	39箇所	39箇所	
	下水道整備計画区域の整備進捗率	2%	—	—	
	合併処理浄化槽設置補助件数	371件	—	—	

施策目標4-2 豊かな自然を守り、自然とのふれあいを大切にしている 《自然環境》

基本施策	成果指標				重点施策
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H29年度)	
4-2-1 森林の環境が計画的に整備され、人と自然が共生している。	人工林の間伐実施率	16%	30%	40%	①森林の保全 ②森林の自然ふれあい環境づくり
	ハイランドパーク粉河来園者数	25,145人	30,000人	32,000人	
4-2-2 水辺の環境が守られ、自然に親しんでいる。	—	—	—	—	①水辺の自然ふれあい環境づくり

政策目標5 健全な行財政運営をするまち ～みんなで取り組もう～

施策目標5-1 効率的で健全な行財政運営を行っている 《行財政運営》

基本施策	成果指標				重点施策
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H29年度)	
5-1-1 健全な財政計画のもと、見直しを図り、効率的・効果的な行財政運営を行っている。	市税徴収率	97.4%	98.3%	98.5%	①納税の適正化 ②財政計画の構築 ④行政財産の適正管理と有効活用
	経常収支比率	96.4%	類似団体の 平均値以下	類似団体の 平均値以下	
	職員数	700人	644人	587人	
	民営化移行件数	4件	20件	25件	
	効果的に処分された遊休財産の件数	3件	20件	30件	

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
5-1-2 最少の経費で最大の効果が得られる事業を行うために、費用対効果を見極め、優先順位をつけて計画的に実行している。	行政評価による事業見直し・改善率	0%	100%	100%	①行政評価制度の導入
5-1-3 庁舎機能が再編され、効率的な行政運営を行っている。	—	—	—	—	①庁舎機能の再編

施策目標5-2 市民にわかりやすい開かれた市民サービスを行っている《市民サービス》

基本施策	成果指標			重点施策	
	指標	現状値 (H18年度)	中間目標 (H24年度)		目標 (H29年度)
5-2-1 職員の能力向上によって住民の満足度を高めている。	職員研修に参加した職員数	3,069人	3,300人	3,300人	①職員の資質向上
5-2-2 市民生活の向上に役立つ行政情報をわかりやすく伝達している。	証明書等自動交付機設置数	0箇所	2箇所	3箇所	①住民サービスの充実 ②市民への広報活動の充実 ③市民の市政参加啓発の推進 ④情報公開の推進
	メール配信登録者数	—	11,000人	14,000人	
	ホームページ（トップページ）への年間アクセス件数	209,912件	230,000件	240,000件	
	市政バスの実施回数	5回	5回	5回	



「市の木 きんもくせい」



「市の花 もも」



「市の鳥 うぐいす」

第1次紀の川市長期総合計画概要版

企画部政策調整課

〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井338番地

TEL 0736-77-2511 FAX 0736-77-4910

Email k030100-001@city.kinokawa.lg.jp